

目指せ！ワースト2位脱却！ ごみの減量化のための 3つのポイント

ポイント 3Rの実践

1 3R(スリーアール)とは、リデュース(Reduce = 発生抑制) リユース(Reuse = 再使用) リサイクル(Recycle = 再利用)の3つの語の頭文字をとった言葉で、ごみの減量化及び持続可能な循環型社会の形成に関するキーワードです。ごみの減量化のために、3Rを意識した生活を心がけましょう。



リデュース (Reduce)	リユース (Reuse)	リサイクル (Recycle)
ごみになるものの量を減らすこと	ものを捨てずに繰り返し使うこと	ごみを資源として再利用すること
・マイバックを活用し、無駄な包装は断る。 ・マイボトルを持ち歩き、缶やペットボトル飲料は買わない。 ・詰め替えの商品や簡易包装の商品を選ぶ。 ・耐久性の高い製品や省資源化設計の製品を選ぶ。	・壊れたものを修理して使う。 ・再利用可能な容器に入った製品を選び、使い終わった時にはリユース回収に出す。 ・リサイクルショップやネットオークション、フリマアプリ等を活用する。	・缶、びん、ペットボトル、ダンボール等の資源ごみをきちんと分別する。 ・エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機等の家電は、決められた方法で正しく処分する。 ・リサイクル原料で生産された商品を選ぶ。

ポイント ごみの分別の徹底

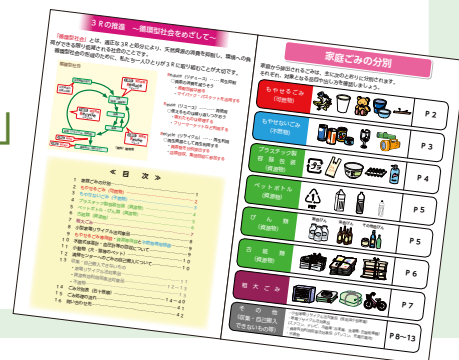
2 川俣町のリサイクル率が低迷している原因として「資源ごみ」として分別・排出すべきものが「可燃ごみ」として捨てられていることが考えられます。ごみの分別を徹底して、種類ごとに決められた収集日に排出しましょう。

正しいゴミの分別方法は
こちらからご覧ください



川俣町で可燃ごみとして捨てられている可能性が高いものは、
ペットボトルのラベル、レジ袋等の「**プラスチック製容器包装**」
新聞紙、雑誌、紙袋、段ボール等の「**古紙類**」

分別がなされていないごみは収集できないため、ごみ収集所に放置され、周辺的生活環境の悪化にもつながります。



※町では、生ごみコンポスト・電動生ごみ処理機等の購入費に補助金を支出しております。詳しくは上記QRコードをご覧ください。

私たちの生活とは切っても切れない「ごみ」。川俣町の1人1日あたりのごみ排出量は、県内平均、全国平均を大きく上回っている状況です。ごみが増え続ければ、そのごみを処理するために使われる費用も増大し、私たちの負担が増えるばかりか、収集・運搬や焼却などのごみを処理する過程でたくさんの二酸化炭素が排出され、地球温暖化のさらなる進行につながってしまいます。

ごみの減量化のためには、川俣町に住んでいらっしゃる皆さま一人ひとりの意識がとても重要です。町民一丸となって、ごみの減量化に取り組みましょう。

みんなでごみ減量化



ポイント 生ごみの水切り

3

川俣町のごみの8割以上を占める可燃ごみは、その約4割は「生ごみ」と言われています。その生ごみの約80%は水分と言われており、できる限り水分を減らして排出することが、ごみ全体の減量化につながります。

① 水分を絞る



生ごみを捨てる際には、三角コーナーや水切りネットを利用し、ギュッと水分を絞ってから捨てましょう。

POINT

この一手間だけでも多くの水分を減らすことができます。

② 乾燥させる



三角コーナー等にまとめた生ごみはすぐ捨てずに、一晩おいて乾燥させてから捨てましょう。

POINT

電動生ごみ処理機を利用すれば、臭いも除去して乾燥させることが可能です。

③ たい肥化させる



市販の生ごみコンポストを利用して、庭や畑で生ごみをたい肥化すれば、可燃ごみの大幅な減量化が可能です。

POINT

コンポストからできたたい肥は、家庭菜園等での野菜や花の栽培用として活用できます。

ダンボールコンポストを作成しよう！

家庭で不要になったダンボールと土だけで、生ごみをたい肥化するコンポストを簡単に作成できます。庭や畑がない家庭でも、手軽に生ごみのたい肥化が可能ですので、ぜひチャレンジしてみてください。

1. ダンボールを組み立てる
2. 培養土を入れれば完成！



生ごみを投入し、毎日1回はスコップでよく攪拌してください。

【準備物】

- ☐ ダンボール
- ☐ 培養土（ホームセンター等で購入）
- ☐ スコップ
- ☐ ガムテープ

生ごみの発酵には、適度な温度管理と水分調整が必要です。寒い時期は暖かい屋内に設置し、生ごみは水分を切らずに投入することがポイントです。



生ごみコンポスト利用者
吉田 アヤ さん

コンポストを活用してできたたい肥を畑の肥料として再利用しています。化学肥料の使用を減らし、身体に優しい野菜が作れるほか、可燃ごみが減るので焼却にかかる費用も減るのは地球にもコスト的にも良いと思います。町内のホームセンターで買えるのも魅力です。



電動生ごみ処理機利用者
高野 金子 さん

電動生ごみ処理機は20年近く利用していますが、臭いもなく乾燥させて細かく処理されるので処分も手軽にできて本当におススメです。今年は補助金を利用して購入しましたが、私は毎日朝晩生ごみを投入しており週に一度畑に肥料として撒いています。